

令和4年(2022年)5月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年5月 数量 (トン)	2022年5月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	主要産地は徳島県産・千葉県産でした。作付け減の影響により、数量はやや減少しました。平均単価は前年並みでした。	520	143	97%	98%
2		キャベツ	主要産地は千葉県・神奈川県産でした。降雨の影響により出荷が安定せず数量は減少しました。前年が単価安だったこともあり、平均単価は大幅に高く推移しました。	1,116	104	86%	158%
3		トマト	積算温度が低かった影響により、数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	425	302	81%	109%
4		レタス	低温の影響により、数量がやや減少しました。平均単価についてはやや高く推移しました。	385	175	90%	110%
5		馬鈴薯	長雨による出荷遅れが解消し、数量はやや増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	312	178	104%	58%
6	果実	その他柑橘	競合果実が少ないため数量はやや増加しました。単価は前年並みで推移しました。	244	305	106%	99%
7		りんご	競合果実が少ないため数量はやや増加しました。前年の在庫過多による単価安の影響で今年の平均単価はかなり高く推移しました。	150	435	103%	143%
8		メロン	天候不順の影響により出荷が伸びず、数量はかなり減少しました。数量減に伴い平均単価は高く推移しました。	256	537	75%	119%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上